

4

石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見つけ、読み比べてみました。次は、【授業で読んだ「竹取物語」の一部】の〈原文〉とその〈現代語訳〉、【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

〈原文〉

今は昔、竹取の翁おきなといふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造みやつことなむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒つづの中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

〈現代語訳〉

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思って、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

(星新一ほししんいち『竹取物語』による。)

(星新一^{ほししんいち}『竹取物語』による。)

(星新一^{ほししんいち}『竹取物語』による。)

一 〈原文〉の——線部「いひける」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

二 〈原文〉の~~~~線部「いと」に対応する言葉を、〈現代語訳〉と【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】からそれぞれ抜き出してなさい。

三 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--